PRESS RELEASE

学ぶ・知る・考える絵本　「アフリカの村から～エリナの物語～」

主人公のエリナは 10 歳。両親を亡くし、おばあちゃん、弟、おばちゃんと一緒にマラウィの村に住んでいます。水くみや薪ひろいなど、大人顔負けの活躍ぶりで、おばあちゃんを助ける元気な少女です。そんなエリナは「学校に行きたいな」というささやかな願いを胸に秘めています。

2015 年までに世界の貧困を半分にしようと、国際社会が決めたミレニアム開発目標（MDGs：Millennium Development Goals）。8 つのゴールの達成に向け着実に前進する国・地域がある一方、サハラ以南アフリカの国々は大きく後れをとり、今も 2 人に 1 人が貧困状態で生活しています。

このたび、国連開発計画（UNDP）、動く→動かす（GCAP Japan）、Child AFRICA は、より多くの日本の皆様にアフリカと開発について知っていただき、ミレニアム開発目標（MDGs）への理解を深めていただくことを目指した、今までにない啓発ツールをウェブサイト上に立ち上げました。コンセプトは、「学び、知り、考える絵本」。子どもから大人まで、興味や知識のレベルに合わせて、誰もが楽しみながら学べる画期的な開発教育教材です。

やわらかいタッチのイラストで描かれたエリナの心温まる物語は、一冊の絵本として十分に魅力的です。それだけではなく、開発という世界が共有する課題について知りたい方々、さらに知識を深めたい方々にもご活用いただける内容となっています。ページを繰るごとにエリナとその家族におこるさまざまな出来事が何を意味するのか知りたい読者には「物語の解説」を、アフリカにおける開発課題の現状と日本を含む国際社会が取り組むミレニアム開発目標（MDGs）について知りたい読者のためには、ゴールごとに詳細な「MDGs 紹介コーナー」を用意し、幅広いニーズに対応できるよう工夫されています。物語を PDF としてダウンロードし、読み聞かせやワークショップの教材として活用していただくこともできます。

8 つの数値目標から成る MDGs は、ともすれば課題別に、数字やデータのみでとらえられがちですが、一人の少女のライフ・ストーリーという人間中心の視点から包括的にとらえ直すことで、MDGs がどれも人々の生活に深くかかわっていること、それぞれのゴールがとても複雑に関連しあっていることが見えてきます。

「アフリカの村から ～エリナの物語～」はこちらからご覧いただけます。
http://www.undp.or.jp/mdgsafrica

お問合わせ先：
国連開発計画（UNDP）　http://www.undp.or.jp
Child AFRICA　http://child-africa.org

国連開発計画（UNDP）について

UNDP は国連のグローバルな開発ネットワークとして、変革への啓蒙や啓発を行い、人々がよりよい生活を築けるよう、各国が知識や経験や資金にアクセスできるよう支援しています。UNDP は 166 カ国で活動を行い、各国の人々と共に、グローバルな開発課題や国内の課題に対し、それぞれの国に見合った解決策が見出せるよう取り組んでいます。それぞれの国の能力強化にあたっては、UNDP のスタッフの知識や幅広い分野のパートナーシップが役立っています。

動く→動かす（GCAP Japan）について

貧困問題解決に取り組む NGO51 団体の集合体。100 ヵ国以上に拠点を持つ貧困問題解決のための NGO ネットワーク「Global Call to Action Against Poverty（GCAP）の日本版として、世界各国の市民社会と連携した政策提言やパブリック・キャンペーンを行っています。
＊加盟団体数は 2009 年 10 月 10 日現在。

Child AFRICA について

世界中の子どもたちが教育をうけることができる環境づくりを目的に、アーティスト MISIA の提唱によって生まれた団体です。アフリカの子どものサポートを通じて、世界中の子どもたちの教育環境を改善し、より良い社会づくりを目指しています。また、アフリカの現状や、子どもたちのことなどをより多くの人に知ってもらうための広報活動にも力を入れています。